

一 般 質 問 要 綱

令和3年第5回6月定例会

通告順	議席番号	質 問 者	質問事項及び質問要旨
1	13	齋藤 仁一	<p>1 新型コロナウイルス感染症対策について</p> <p>(1) 新型コロナウイルス感染症の市内の実態とその実情をどう判断しているのか伺いたい。</p> <p>(2) 高齢者のワクチン接種について、予約と接種状況について伺いたい。また、今後のワクチン接種の方法とスケジュールについて伺いたい。</p> <p>(3) ワクチンそのものへの疑念や接種後その有効性の期間の長さなどについて市はどのように捉えているのか。また、市民への周知をどうするのか伺いたい。</p> <p>(4) 新型コロナウイルス感染拡大による市内の事業者及び働く方々の実態をどう把握し、市民生活の状況がどうなっていると判断しているのか。また、市の具体的な支援策の動向について伺いたい。</p> <p>2 教育行政について</p> <p>(1) ICT教育について、市の基本的な考えと具体的な進め方について伺いたい。</p> <p>(2) 放課後児童クラブの市としての基本的な考えと保育内容の充実及び指導員の確保について伺いたい。</p> <p>(3) 耶麻農業高校に対する市としての今後の見通しと将来の在り方について伺いたい。</p> <p>3 農業振興について</p> <p>(1) コロナ禍の中、稲作における取組をどうしていくのか、市の基本的な考えについて伺いたい。</p> <p>(2) 環境保全型農業直接支払交付金事業への取組は怎么样了のか。また、この取組以外での有機農業など環境保全及び循環型農業についてどう振興していくのか、その考えと具体策について伺いたい。</p> <p>(3) これらの農畜産物を核に地域内循環経済体制の構築が必要と考えるが、市としての基本的な考えと具体策について伺いたい。</p>
2	12	長澤 勝幸	<p>1 昭和電工株式会社の敷地内における土壌及び地下水汚染問題について</p> <p>(1) 市としての基本的な考え方・対応について</p> <p>ア 市として今回の問題をどのように捉えているのか。</p> <p>イ 昭和電工及び県からの調査結果について市への説明は来ているのか。また、当初の住民説明会で調査結果を報告してから半年が経過している。その後、新たに判明している事実はあるのか。</p> <p>ウ 土壌汚染問題は、環境、水質モニタリング、地下水位・地下水流水・水量の変化など影響は広範囲になる。長期的・継続的な対応が必要になることから関係行政区と連携した監視、分析、対応策を一体的に取り組むべきと考えるがどうか。</p> <p>エ この間の会社の説明では、工事完了後の監視体制は1年程度の継続と説明されている。4月16日の住民説明会では、県の見解として汚染物質の浄化排水期間は「永久的に継続する」と考えが</p>

通告順	議席番号	質 問 者	質問事項及び質問要旨
			<p>示されたが、将来の安全性の確保に向けどのように考えるか。</p> <p>(2) 当面する課題について</p> <p>ア 県の地下水汚染調査は、昨年事業所敷地境界から250m以内を実施、2月からは250mを超える範囲、主に高吉一区で拡大追加調査を実施し、結果は、基準値超過件数が増加している。</p> <p>現在、綾金・長尾地区でも調査が実施され、さらに塩川町能力等でも実施予定になっている。今後どのように対応していくのか。</p> <p>イ 遮水壁工事の完了後は、敷地内汚染水は浄化作業が行われ農業用水に排水される。環境及び下流水域水田などへの影響について長期的な追跡調査を行い、実害及び風評被害等への対応が必要と思うが考え方はどうか。</p> <p>ウ 遮水壁による地下水の流れの変化、水質及び濁水など水位変動も想定されるが、監視対策をどう考えるのか。</p> <p>(3) 補償の問題について</p> <p>ア 遮水壁施工に伴う振動の影響で、建物・家屋の変状が想定される。それらに対する事前調査などの対応と補償についてどのようなことが考えられるのか。</p> <p>イ 「おいしく良い水」が出るこの地域で工事施工に伴う第一帯水層からのくみ上げが困難になった場合、上水道への切り替え整備も想定されているようだが、汚染のない第二帯水層からの揚水を補償することが必要と考えるがどうか。</p> <p>ウ 長期間にわたるフッ素による健康被害として、歯への影響に対し会社の対応策は示されているがこれで十分なのか。他の健康への影響についてどのように見ているのか。</p> <p>エ 汚染水浄化作業は「永久的に継続する」との見解だが将来にわたり地域住民の安全・安心を守るために市として企業との協定書及び覚書等が必要と考えるがどうか。</p> <p>2 運転免許証自主返納制度見直しに伴う考え方について</p> <p>(1) 事業の検証と今後の取組について</p> <p>ア 5年間の事業が今年度で終了する。これまでの事業をどのように検証しているのか。</p> <p>イ 令和2年度から令和3年度にかけて検討するとしているが、窓口アンケート調査結果を参考にどのように分析しているのか。</p> <p>ウ 県内市町村等の取組を参考にするとしているが、どのような情報収集と本市にあった今後の具体的取組についてどのように検討されているのか。</p> <p>(2) 後付け急発進等抑制装置の推進について</p> <p>ア 市としての積極的な制度化を求めてきた。市からは「国のサッカー補助金の周知と利用促進を図る」との答弁であったが、これまでの実績を把握しているのか。</p> <p>イ 南相馬市では、国に先駆けて補助金交付要綱を定め進めてき</p>

通告順	議席番号	質 問 者	質問事項及び質問要旨
			<p>た。国の「サポカー補助金」で2020年3月以降に販売・取付けされた後付け装置が対象となるが、重複して受けることはできない。国で制度化したが、現実的になかなか進んでいないのが実態である。市として制度化し、取組を展開することによって周知や認知度が上がることにより、普及が図られると考えるがどうか。</p>
3	3	山口文章	<p>1 市内の小中学校の現状について</p> <p>全国的にコロナが感染拡大している中で、市内小中学校では様々な対応処置が発生していると思います。現に、学校関係者が陽性反応で休校処置が行われてきました。コロナウイルス感染症が収まらない現状では以前の学校生活ができない状況です。そのような中で、市内の小中学校について以下の4点について伺います。</p> <p>(1) 市内の小中学校でのコロナ対策について</p> <p>ア 市内小中学校でのコロナ感染対策、また、陽性者が発生した時の対応について伺います。</p> <p>イ 現状、市内の小中学校でコロナ陽性者が発生し、休校の処置がとられていますが、どのような理由で休校を実施したのか伺います。</p> <p>ウ 市内小中学校でのコロナ禍における学校行事の進め方について伺います。</p> <p>(2) 市内の小中学校での協力金について</p> <p>ア ある中学校では、学習充実協力費として、任意ではありますが協力金の形で集金しています。市内の全小中学校では協力金などの集金を実施しているのか伺います。</p> <p>イ 協力金の使用目的など把握していると思いますが、協力金として各家庭にお願いしている現状を、市はどのように捉えていますか伺います。</p> <p>(3) 市内小中学校の通学路について</p> <p>市内小中学校の通学路で危険個所は捉えていますか。また、危険個所の安全対策と対応について伺います。</p> <p>(4) 市内小中学校のスクールバス、デマンド交通について</p> <p>ア スクールバス、デマンド交通を生徒、児童が利用しておりますが、コロナ禍での感染予防対策について伺います。</p> <p>イ 冬期間、自転車通学不可の生徒に対するデマンド交通の支援について伺います。</p> <p>2 コロナウイルスワクチン接種について</p> <p>現在、本市においてもコロナウイルスワクチン接種が開始されましたが、65歳以下の接種時期がまだ不透明です。今後のワクチン接種に対し、本市の考えについて2点ほど伺います。</p> <p>(1) 現状のワクチン接種について</p> <p>接種キャンセルに対しての対応と、今後の接種体制について伺います。</p> <p>(2) 65歳以下のワクチン接種について</p>

通告順	議席番号	質問者	質問事項及び質問要旨
			<p>ア 優先順位はどのようになっているのか伺います。</p> <p>イ 子供の感染が確認されている中で、先生・保育士等の子供と接する職業の優先接種、また、ひとり親家庭の優先接種の考えについて伺います。</p>
4	6	小島 雄一	<p>1 子ども・子育て支援事業について コロナ禍の影響は、私達の社会に大きな影響を及ぼしている。本市の令和2年度の人口動態を見ると出生数が236人、死亡数784人となり、自然動態で548人の減少となっている。社会動態の114人減少と合わせ662人の減少となり、人口減少が以前と変わらず大きく進んでいる。混乱した社会情勢の中で生まれた生命を大切に育て、また、その両親を中心とした家族が子育ての喜びを実感し、輝いている家庭が多数存在してこそ、私達の社会の希望となるものである。そこで以下の質問をいたします。</p> <p>(1) 社会福祉課に「地域包括ケア推進室」を設置した目的を伺う。</p> <p>(2) 本市の子育て世代包括支援センターの体制と活動の現状を伺う。</p> <p>(3) 切れ目のない包括ケアを行うということであるが、本市の支援体制の現状と課題を伺う。</p> <p>(4) ケアの視点を実施者中心から利用者中心に転換すべきと思うが実態はどうか伺う。</p> <p>(5) こども園や私立保育所等の連携を伺う。また、小学校や教育委員会との連携はどうか伺う。</p> <p>(6) 保護者に子育ての基礎知識、家庭のあり方、特にスマホ等の電子メディア機器の影響等を知らせる機会が必要と思うが考えを伺う。</p> <p>2 建設事業について</p> <p>(1) 本年度の国道459号の整備計画を伺う。</p> <p>(2) 県道の整備計画を伺う。</p> <p>ア 21号喜多方会津坂下線バイパスの延長はあるのか伺う。</p> <p>イ 61号塩川山都線の新宮橋の改良はあるのか伺う。</p> <p>ウ 69号北山会津若松線の金川集落交差点の北にある狭あい部の解消がいつになるのか伺う。</p> <p>(3) 境見川整備の計画を伺う。</p>
5	5	上野利一郎	<p>1 市民憲章の周知について 令和2年7月に市民憲章が告示されたが、その後市民への周知についてどのようになっているのか、以下の3点について伺います。</p> <p>(1) これまでの主な周知活動について伺います。</p> <p>(2) 今年で合併15周年を迎えたが、15年の節目にあたり、記念事業を企画しているのか伺います。</p> <p>(3) 今後、どのような形で周知活動すべきと考えているのか伺います。</p> <p>2 新型コロナウイルス感染症対策について 本市でも令和3年4月下旬から、医療機関の関係者をはじめとしてワクチン接種が開始されたが、本市で集団免疫を獲得するためにどの</p>

通告順	議席番号	質 問 者	質問事項及び質問要旨
			<p>ような見通しがついたのか、また、県の感染者情報の公開方法は適切な のか、感染者が増大している中で軽症者の宿泊療養施設の増設はさ れているのか、以下の3点について伺います。</p> <p>(1) 現在のワクチンの確保量と接種の見通しについて伺います。</p> <p>ア ワクチンの確保について、各自治体まで到達する絶対数量が不安 視されているが直近の情報について伺います。</p> <p>イ 年代別の受付と接種が行われているが、ワクチンメーカーが変更 される可能性について伺います。</p> <p>ウ 16歳以上の市民が、2回の接種が完了するスケジュールはどの ような見通しがついたのか伺います。</p> <p>(2) 県の感染者状況の公開方法について</p> <p>ア 県のホームページで毎日更新される情報が5月6日から簡易 的で非常に分かりづらくなっているが、その原因について伺いま す。</p> <p>イ 他県の感染者情報の公開方法と比較すると、福島県の公開方法 について、県民への理解を深められるよう感染状況や感染ネット ワークに関して、もっと分かりやすい形にすべきと考えるが、市 当局の見解を伺います。</p> <p>(3) 軽症者の宿泊療養施設の増設について</p> <p>ア 県で確保している軽症者向けの宿泊療養施設数と受け入れ人 数について伺います。</p> <p>イ 1年前の6月定例会の一般質問でも、会津地区における宿泊療 養施設の増設の可能性を質問したが、現在の状況と増設の可能性 について伺います。</p> <p>3 本市における工場等事業所敷地内での土壌・地下水の汚染対策につ いて</p> <p>令和2年10月に、本市で操業中の工場事業所内敷地の土壌・地下 水の調査結果から環境基準を超える有害物質の存在の確認が報告さ れた。これまでの経過の内容や、ここまでの方針が適切であるのか以 下の6点について伺います。</p> <p>(1) 土壌・地下水調査について</p> <p>ア 工場における事業所内の敷地の土壌と地下水の調査について、 関連法令ではどのように行うべきと定められているのか伺いま す。</p> <p>イ これまでに定期的に土壌・地下水の調査は行われていたのか伺 います。</p> <p>ウ 本市の他事業所での土壌・地下水の調査義務と調査状況につい て伺います。</p> <p>(2) 土壌汚染の原因と汚染対策指針への理解度について</p> <p>ア 土壌汚染の原因について伺います。</p> <p>イ 土壌汚染の対策方法としては、土壌改良と地下水浄化の2つの 処理方法とこれらを併用する方法がある。新たな汚染源の発生・</p>

通告順	議席番号	質 問 者	質問事項及び質問要旨
			<p>増加はないとの説明があったが、土壌改良対策についての説明はされずに、遮水壁の敷地内埋没による第1帯水層の遮水と、揚水井戸でくみ上げた地下水の薬剤による凝集処理での浄化対策の説明であったが、地下水調査対象地区の住民の理解が十分に得られたのかどうか伺います。</p> <p>(3) 今後の調査について</p> <p>ア 地下水の追加の水質調査に関して、調査地区の選定方法について伺います。</p> <p>イ 喜多方綾金工業団地の地下水への影響について、団地造成時の水質調査より、さらに詳細な水質調査が必要なのかどうか伺います。</p> <p>(4) 地下水利用者への対応について</p> <p>ア 水質基準を超過した井戸の使用制限、補償内容や費用負担に関して伺います。</p> <p>イ 事業所敷地より地下水の下流地区からの地下水利用者の水質調査依頼には、どのように対応するのか伺います。</p> <p>(5) 情報の共有と公開について</p> <p>ア 調査が終了した場合、周辺地区の調査情報をまとめ、建設・農林・河川を所管する部署と共有・連携すべきと思うが、市当局の考え方について伺います。</p> <p>イ 該当地区において、今後の地下水利用需要者のためのガイドラインを定めて、上記の調査情報と併せて住民へ情報公開すべきと思うが、市当局の考え方について伺います。</p> <p>(6) 事業所排水等の監視体制と農業用水路への影響について</p> <p>ア 遮水壁設置後の事業所の排水の水質調査や浄化処理後の沈殿物の処理状況はどのように監視・報告されるのか伺います。</p> <p>イ 水田等で利用する農業用水路への流入影響は発生しないのか伺います。</p>
6	7	渡部一樹	<p>1 新型コロナウイルス感染症対策について</p> <p>(1) 今般の感染拡大期における10万人あたりの感染者数は最大でどの程度であったか伺いたい。</p> <p>(2) 基本的対処方針の見直し時期と内容は適切であったと考えているのか見解を伺いたい。</p> <p>(3) 保健所との連携は引き続き課題だが、情報共有と市民への周知方法はどのように考えているのか。また、市から保健所の応援体制の検討状況について伺いたい。</p> <p>(4) さまざまな市からの要請や協力依頼が広く市民、事業所等に周知されたものと認識しているのか見解を伺いたい。</p> <p>(5) 市立学校での感染者・濃厚接触者が確認された場合の報道発表に差異がみられたがその理由について伺いたい。</p> <p>2 新型コロナワクチンについて</p> <p>(1) 直近の市が要望した数に対する入荷状況と今後の接種スケジュー</p>

通告順	議席番号	質問者	質問事項及び質問要旨
			<p>ールの見通しについて伺いたい。また、国において7月末までに65歳以上の方々の接種完了が要請されているが本市は対応できるのか見通しについて伺いたい。</p> <p>(2) 接種スケジュールの透明化を図り、週ごとの予定や日ごとの接種数などを積極的に公表すべきと考えるが見解を伺いたい。</p> <p>(3) 5月12日より電話予約が開始されたが、これまでの苦情や問い合わせの内容と件数について伺いたい。</p> <p>(4) 副反応の事例と件数、それに対する市の認識について伺いたい。</p> <p>3 経済対策について</p> <p>(1) 新型コロナウイルス感染症による本市の経済に対する影響について伺いたい。</p> <p>(2) 昨年5月に実施した事業所アンケートを今後は定期的の実施し、施策のエビデンスとすべきと考えるが見解について伺いたい。</p> <p>(3) 市新型コロナウイルス感染症拡大防止協力金（時短営業協力金）の1日2万円とした根拠について伺いたい。一律給付は改めるべきと考えるが見解を伺いたい。</p> <p>(4) 連休期間中の観光客入込数について伺いたい。また、昨年及びコロナ禍以前と比べどのような状況か伺いたい。</p> <p>(5) 日中線しだれ桜並木協力金については、委員会の口頭付言もあり、集金方法を見直したが効果や課題について伺いたい。</p>
7	20	佐原正秀	<p>1 異常気象の災害発生時における対策について</p> <p>毎年、多くの方々が豪雨災害の犠牲となり、水害により多くの方が命を落とす悲劇が繰り返される。自然災害は、突発的に発生する地震とは違い、降雨、河川への流出、流下、氾濫と順に発生する、いわば進行性の災害である。すなわち、降雨から人命を落とすような被害の発生までの猶予時間（リードタイム）を活用し、適切な行動をとることにより、被害が発生したとしても、命は守ることができるはずであります。しかし、これが難しい。毎年毎年、繰り返される悲劇に対して、様々な取組がされ、改善も進んでいるが、根絶するに至っていない。何十年ぶりの水害等に直面することは、一生に一回あるかないかの出来事であり、いざ直面すると、なにをどうすれば良いのか、皆目見当がつかないのが現実である。被害を縮小し、強靱な地域づくりを目指し、各施策の効果的かつ迅速な進捗を図るとともに、地域の持続的な成長を進めなければなりません。</p> <p>そこで、今後予想される大規模自然災害に備えた対策についてお尋ねいたします。</p> <p>(1) SNS情報による被災状況把握の取組について</p> <p>(2) 気象観測情報システムの導入について</p> <p>(3) 災害薬事コーディネーターの導入について</p> <p>(4) タイムラインによる地域を繋ぐ取組について</p> <p>(5) ウィズコロナ時代の対応について</p> <p>(6) 災害時対応及び避難者受付カードの活用について</p>

通告順	議席番号	質 問 者	質問事項及び質問要旨
			<p>(7) 災害ケースマネジメント制度の取組について (8) 避難行動要支援者名簿の掲載について</p> <p>2 子どもを守る児童虐待防止への取組について 平成30年度における全国の児童相談所の児童虐待相談対応件数は、15万9,850件と増加しており、平成11年度に比べて約13.7倍になっている。虐待相談件数は、心理的虐待や身体的虐待の割合が多く、相談経路は、警察、近隣知人、家族、学校からの通告が多いことが報告されております。また、周知のとおり児童虐待による痛ましい事件が連続しており、児童虐待における死亡事例等の検証結果によりますと、虐待死などが挙げられる。原因は、家庭における地域社会との接触がほとんどない事例が多く報告され、このような現状にあり、児童虐待については深刻化していると言わざるを得ない、本市においても対岸の火事ではありません。それぞれの虐待相談件数も年度ごとに増加しており、早急な対策が求められますが、これらの取組についてお尋ねいたします。</p> <p>(1) 本市の児童虐待の現状と課題について (2) 児童虐待防止対策の抜本的強化について (3) 専門的人材の必要性和育成について (4) 子どもにやさしいまちづくりについて (5) 子ども・若者ステーションの開設について (6) 切れ目のない支援体制の充実について</p>
8	4	十二村秀孝	<p>1 自主防災組織と機能別消防団について 全国の消防団員数は年々減少し、危機的状況にある中、地域住民一人ひとりが「自分たちの地域は自分たちで守る」という「共助」の取組が重要視されています。そこで次の3点について伺います。</p> <p>(1) 本市の自主防災組織数と組織率について伺います。 (2) 本市の自主防災組織の主な活動内容と活動実績について伺います。 (3) 今後導入が予定される機能別消防団の考え方について伺います。</p> <p>2 田んぼダムについて 近年の豪雨災害の多発により、水田に水を貯め、洪水被害を軽減する「田んぼダム」の取組が注目されています。取組による効果を高めるためには多くの水田での取組が必要であります。</p> <p>こうした中、国においても今年度から多面的機能支払交付金で「田んぼダム」への支援を拡充する等、後押しすることとしております。そこで次の3点について伺います。</p> <p>(1) 多面的機能支払交付金における「田んぼダム」への支援の概要及び要件について伺います。 (2) 「田んぼダム」について、団体の関心や反応、さらには今年度の申請見込み状況について伺います。 (3) 防災減災の観点から市として「田んぼダム」の取組を積極的に進めるべきと考えるが、市の考えを伺います。</p>

通告順	議席番号	質 問 者	質問事項及び質問要旨
9	1	矢 吹 哲 哉	<p>1 福島第一原発汚染水海洋放出決定について</p> <p>(1) 政府による決定について立地県の首長としての見解を伺う。</p> <p>(2) 「漁業者・国民の理解を得られない海洋放出は絶対行わない」とした政府・東電の約束をほごにするものであり、撤回すべきである。原発立地県の首長として、オール福島で「決定撤回」を求め、その先頭に立つべきと考えるが、市長の姿勢を伺う。</p> <p>2 一極集中から地方分散、中央集権から地方分権へポストコロナの地域づくりについての遠藤市長の考えを具体化するいくつかの課題について</p> <p>(1) 農村整備事業での市長のイニシアチブについて</p> <p>ア 多面的機能支払交付金事業での目標と実施方針を伺う。</p> <p>イ 田んぼダム取組の目標、実施方針について伺う。</p> <p>ウ 水路・農道の長寿命化の取組の目標、実施方針について伺う。</p> <p>(2) 農山村地区への市公共施設整備方針について</p> <p>ア 農山村に若者が移住・定住したくなる地域づくりの基本方針について伺う。</p> <p>イ 現在進めている小中学校適正規模適正配置では、どこの点を、どのように検討するのか。また、現在までの庁内検討委員会での検討内容について伺う。</p>
10	9	菊地とも子	<p>1 さくらまつりについて</p> <p>(1) 令和3年度日中線しだれ桜の入込数について</p> <p>(2) 経済効果について</p> <p>(3) 協力金について</p> <p>(4) キャンペーンクルーについて</p> <p>2 林道飯豊桧枝岐線・一の木線について</p> <p>(1) 林道飯豊桧枝岐線・一の木線開通に至った理由（経緯）について</p> <p>(2) 開通時期について</p> <p>3 4月に発生した凍霜被害について</p> <p>(1) 農作物の被害状況及び被害額について</p> <p>(2) 今後の支援策について</p> <p>4 新型コロナウイルス感染症対策について</p> <p>(1) 現在の感染者数（年代別）について</p> <p>(2) ワクチン接種について</p>
11	18	伊 藤 弘 明	<p>1 合併後15年を経て、旧2町2村の行政運営について</p> <p>(1) 地域の活力が落ちてきているのではないかと。</p> <p>(2) 各地域の人口動態と高齢化率はどのように推移しているのか。世帯数についてはどうか。</p> <p>(3) 地域を活性化していく、盛り上げ、モチベーションを上げていくにはどうしていったらいいのか。</p> <p>2 家庭ごみの収集にあたり、きれいな町並みを維持するため、さらに新たな事業を導入していくべきではないかと</p> <p>(1) ごみ収集かごの設置に対する補助制度を設けてはどうか。</p>

通告順	議席番号	質 問 者	質問事項及び質問要旨
			<p>(2) プラスチック製容器包装のごみ、通称プラスチックごみにプラスチックを入れて出したら、業者が持っていかなかった。なぜですかと質問を受けることが多い。名称をもっと分かりやすいものに変えていくべきではないか。</p>
12	2	小澤 誠	<p>1 行政のデジタル化と個人情報保護について デジタル関連法が5月12日に参院で可決成立しました。デジタル関連法は利便性を強調する一方で、情報の主体である個人情報の保護を後退させるおそれが指摘されています。喜多方市の個人情報保護条例では、個人情報の直接収集(第6条)、目的外利用の禁止(第7条)、自己情報コントロール権の保障(第11、第21条)を原則としています。 そこでお聞きいたします。今回のデジタル化は喜多方市民の個人情報保護にとってプラスになるものなのか、マイナスになるものなのか。市長の認識をお尋ねいたします。</p> <p>2 「再生可能エネルギー100%」を阻む日本の事情と「容量市場」について 2011年の福島原発事故をうけて、国民の間には脱原発の気運が広がりました。また、2015年の気候変動防止のパリ協定によって、脱炭素を目指し、多くの国が2030年までに石炭火力発電所を全廃することを宣言するようになりました。今まさに再生可能エネルギー発電100%に向けたエネルギーへの大転換の時代が到来していると思われました。しかし、日本の現実はその通りには動いていないようです。そこでお尋ねいたします。 (1) 再生可能エネルギーへの転換を阻んでいる日本の事情は何か。市長の認識をお伺いいたします。 (2) 「容量市場」とは何か。分かりやすく説明して下さい。これがなぜ再生可能エネルギーへの転換を阻む原因になっているのでしょうか。</p>
13	10	小林 時夫	<p>1 雇用対策について (1) 本市の雇用状況について ア 市内高校の就職状況、県立テクノアカデミー会津の就職状況及びU I Jターンの状況について イ コロナ禍における解雇、雇い止めの状況について ウ 本市の雇用相談センターの現状と今後について (2) 本市の雇用対策について ア 本市の雇用対策による実績について イ 今後の雇用対策について (ア) 若者に対する支援策について (イ) シニアに対する支援策について (ウ) コロナ禍における支援策について</p> <p>2 移住・定住対策について (1) 移住相談窓口の状況について</p>

通告順	議席番号	質問者	質問事項及び質問要旨
			<p>移住相談の内容や相談件数について</p> <p>(2) 移住・定住支援事業の実績及び検証について</p> <p>(3) 今後の移住・定住対策について</p>
14	8	蛭川靖弘	<p>1 小中学校のタブレット端末の活用について</p> <p>昨年からの新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、G I G Aスクール構想が一気に加速し、令和3年4月より全国の自治体でオンライン授業の体制が整備された。</p> <p>そこで、本市の小中学校におけるタブレット端末の活用状況について伺う。</p> <p>(1) 本市における、小中学校へのタブレット端末とモバイルW i - F iの配付の実施状況について伺う。(パーセンテージ)</p> <p>(2) 学校内でのタブレット端末利用の授業について、内容を伺う。</p> <p>ア 通常授業での利活用の状況</p> <p>イ 緊急時(オンライン授業など)の対応への準備、マニュアル整備等</p> <p>ウ 家庭への持ち帰り状況、モバイルW i - F i、充電器の取扱い</p> <p>(3) コロナ感染者による休校などの際に、オンライン授業を行うことが可能となったが、その実施状況について伺う。</p> <p>(4) タブレット端末の故障時の保険について、登下校時や家庭内での破損、故障についての責任、保険の適用について伺う。</p> <p>2 本市の極端な少子化の進行について</p> <p>本市の人口減少については依然緩やかな減少傾向を継続している。しかし、平成29年以降4年間の出生数の極端な減少は、過去に例を見ない大きな減少率となっている。</p> <p>そこで、本市の極端な少子化の進行について伺う。</p> <p>(1) 本市の人口は平成27年国勢調査を基にした福島県推計人口によると、この6年間において、1.0%~1.7%程度の緩やかな減少傾向を維持しているが、出生数については、平成29年以降6.5%~13.0%の極端な減少傾向を見せている。</p> <p>それ以前の出生数が10年間ほぼ横ばいであったこと、また先に述べた人口減少率に比較しても、異常事態と考えられるが、市での認識と原因分析について伺う。</p> <p>(2) 本市では平成27年に喜多方市長期人口ビジョンを作成し、令和元年にその第2版を作成した。</p> <p>その中では国立社会保障人口問題研究所が作成した「日本の地域別将来推計人口」を「基準モデル」とし、喜多方市独自の2030年までに希望出生率2.07を目指すこととした「展望人口」を掲げているが、6年が経過した現在、本市の人口減少については「展望人口」どころか「基準モデル」を下回る状況となっている。</p> <p>この状況についての認識と対策について伺う。</p> <p>(3) 本市では喜多方市長期人口ビジョンで掲げる希望出生率2.07を実現することで得られる「展望人口」をベースに、小中学校適正規</p>

通告順	議席番号	質 問 者	質問事項及び質問要旨
			<p>模適正配置実施計画を策定しているが、4年間継続している極端な出生数の低下が継続するとすれば小中学校適正規模適正配置実施計画は絵に描いた餅となりかねない。</p> <p>そこで、以下の点について伺う。</p> <p>ア 喜多方市長期人口ビジョン、もしくはそれをベースとした小中学校適正規模適正配置実施計画の見直しは行わないのか。</p> <p>イ 令和2年度に出生した236人が小学校に入学する令和9年度に、入学生が5人以下となる小学校の数。(社会増減がプラスマイナス0だった場合)</p> <p>(4) 喜多方市長期人口ビジョンで掲げる「展望人口」をベースに策定した本市の重要計画や指標が、小中学校適正規模適正配置実施計画以外にどのようなものがあるか伺う。</p>
15	15	田中雅人	<p>1 コロナ禍での市の対応について</p> <p>新型コロナの変異ウイルスによる感染者が増加し、長期化する現実の中で、市民生活は経済的悪化で深刻さを増しています。</p> <p>(1) 本市における昨年12月以降、現在までの(市独自策を含む)取組状況とその成果、さらに今後の取組について伺う。</p> <p>(2) ワクチン接種の課題と取組体制について伺う。</p> <p>(3) 本市のPCR検査・抗体検査等の結果と検査数、陽性率について伺う。</p> <p>(4) 本市の雇用環境の変化について伺う。</p> <p>2 文化財の保存活用について</p> <p>県内では9自治体が歴史文化基本構想を策定しており、本市も喜多方市の歴史ある文化をしっかりと位置づけ、保存活用することが急ぎ肝要かと考えます。県教委は文化財保存活用地域計画の作成を県内市町村に促す中、作成に着手したのは、会津若松市、喜多方市、白河市、石川町の4市町と本年1月に新聞報道がありました。</p> <p>(1) 市の文化財保存活用地域計画を策定する基本的な考え方と歴史文化基本構想との関係性、策定の日程及び策定手法について伺う。</p> <p>(2) 最近発見の「藤権現遺跡」の発掘スケジュールについて伺う。</p>
16	14	渡部勇一	<p>1 コロナウイルス感染対策について</p> <p>(1) コロナウイルスワクチン接種の優先順位について</p> <p>(2) ワクチン接種申込キャンセルについて</p> <p>ア キャンセル時の対応はどのようになるのか。</p> <p>イ 余剰ワクチンを無駄にしない対策は。</p> <p>2 市長の政治姿勢について</p> <p>(1) 旧県立東高等学校跡地利活用の考え方は。</p> <p>(2) 跡地利活用を考えているならば、その利活用の方向性と想定される事業があればお伺いする。</p>